

平成30年度第1回平塚市博物館協議会会議録

■開催日時 平成30年5月24日(木) 10時～12時00分

■開催場所 平塚市博物館 特別研究室

■会議出席者(敬称略)

会 長 椿田有希子

副会長 平井 晃

委 員 横関秀美、植田育男、堀之内 一天、安室 知

事務局 高橋社会教育部長、澤村館長、杉山館長代理(管理担当長)、栗山館長代理(学芸担当長)、  
熊澤担当長(市史編さん担当長)

■傍聴者 0名

■会議の概要

1 開 会

館長挨拶

2 議 事

(1) 報告事項等について

- ・「春期特別展「四之宮前島神社 その神輿と地域の信仰」について
- ・「こどもフェスタ2018」について
- ・「市史13上の刊行」について

(2) 今後の事業計画等について

(3) その他

- ・ 事務連絡等

■議事および質疑

議題(1) 報告事項等について

---

◆平成30年度事業のうち春期特別展「四之宮前島神社—その神輿と地域の信仰—」について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 知っているつもりでいたが知らないことだらけだった。隣のことなのにどうして今まで知らなかったのか、とても勉強になった。ありがとうございました。

委 員 施設が古く天井が低いというマイナスをプラスに変えるような展示の工夫があった。

- 委員 キャプションが視力0.5で読めなかった、見づらいという意見があるが工夫が必要では。
- 事務局 文字で伝えたい情報が多かった。キャプションは大きくしようかと思いつつも、情報量を多くしたいということもありギリギリのところだった。確かにキャプションが読みづらかったとは考えている。
- 委員 資料1の「展示期間入館者数」の「子ども」は初等教育の小中学生を指すのか。子どもの割合が月によって振れ幅があるが、どうとらえているか。
- 事務局 子どもが多いシーズンがあり、夏休みは増える傾向がある。5月はゴールデンウィークの時期に割合が増える、それが反映していると考えている。補足をすると、5月6日のこどもフェスタの効果もある。特別展の会期もちょうど5月6日までだった。
- 委員 入館者数について、26～28年度春期と比べると、人数的に減っているのは駐車場の有料化の影響か。
- 事務局 特別展のテーマによる変動は否定できない。駐車場の有料化の影響もあるだろう。
- 委員 表面上は減っているようだが、関心は下がっていないととらえられるが。
- 事務局 特別展の図録の利用を見ると減っているようには見えない。「見たい」という意思をもって来館する人の点を考えると減っていないが、軽い気持ちで来館する人の足を止めてしまっているとも考えられる。
- 委員 「情報の入手先」で「その他」は何を指しているか。
- 事務局 具体的に考えられるものは選択肢に入れているので、逆にそういう人にとって聞く機会があれば聞いてみたい。学校の先生から聞いたというものはあるかもしれないし、SNSもあるかもしれない。
- 委員 感想を見ると「ひらがなをふってほしい」「漢字が難しかった」という意見が見られる。子どもに難しいのはもったいない。補助的な資料、ワークシート等で子どもにもわかりやすく説明する工夫が必要だと思う。子どもを想定したサポートを用意したほうがもっとうまくいったと思う。
- 事務局 子どもが楽しめるような設定をしていなかった。展示で神輿を間近で見られることで、おじいちゃん・おばあちゃんがお孫さんを連れてくるので、そこで説明をするための用意を後から考えられたと思う。
- 委員 展示するのはとても大変そうだった
- 事務局 地域と共催したおかげで、博物館主導ではできない、ほかの団体の協力もあって展示が実現した。神輿の展示では神輿台を特別に作っていただいた。

委員 こういった内容をもっと行っていく上で、すべきことは何かあるのか。

事務局 地域・地区の環境、きっかけがある。今回は神社の記念ということでできた。そういった環境次第でまた考えていきたい

委員 研究者の間では、民俗芸能が衰微していくなか、いかに継承していくのかを苦慮している。その中で機会があるのは非常に良いことで、子どものうちから見られるのはとても良く、意味がある。関連事業がたくさんあり、地域文化の継承に非常に役に立つとても意味があったのではないかと思う。

◆「博物館こどもフェスタ2018」について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委員 6分野に学芸員7名ということだが、イベントをこれだけ行うのに学芸員だけで手が回るのか。

事務局 学芸員だけでは足りない。そこでワーキンググループの方々に、中心になって進めてもらうくらいの勢いで運営して頂いている。スタートした時からこの手法である。こどもフェスタに限らず積極的にお手伝いを頂いている。

委員 「もっとやりたかった」という参加者の意見が見られ、運用を工夫して満たしてあげられるのでは。特に駐車場のところでは便宜をはかれれば影響があると思う。1時間で終わらない活動をすることで長時間の滞在となるので配慮が必要だと思う。

◆市史13上の刊行について、熊澤市史編さん担当長が説明資料により説明

委員 市史はどこまで出す予定か。

事務局 刊行計画としては、寺社の続きを出し、次に年表編を出し、計画を終了する。

委員 計画はいつまでか。

事務局 平成32年の刊行、年表編はその翌年を予定している。

委員 他市町で執筆経験がある身としては、執筆は短い期間で時間がほとんどないが、平塚市はその辺の理解がある。

事務局 昭和57年当時の計画では15年で全部出し終わる予定だった。急いで完成させたい。計画当初と執筆のメンバーも変わっていている。続編は今回刊行した分とテーマが重なり、執筆者も重なることもあるという現状である。

委員 集められた史料は全て博物館に収蔵されるのか、それとも公文書館のようなものか。

事務局 現時点では、史料は博物館と市史で保管を分けている状態。刊行終了後については、文書を

所管する市の部局などと一緒に検討していく。

委員 死蔵にはならないようにしてほしい。

委員 市史は、冊子は敷居が高いように感じ、なかなか手に取ることもない。ダイジェスト版のようなものを作成してみてもどうか。漫画にすると手に取るようになるのでは。「身近なものにする」というところでは効果があるのでは。写真に説明が書かれたもののようなビジュアルに訴えるもので、地域を知るきっかけになって面白いのではないだろうか。

事務局 市史の役割は、話のネタの仕入れ場所になれば良いと思う。ただ、アーカイブを所管事業とするにはネタを料理に加工した形で提供するノウハウが足りない。具体的ニーズがあればどういう提供方法があるか個別に話ができる程度。

委員 過去に市史を編さんすると合わせて何か分かった情報や知見で特別展や企画展をするようなことはあったか。

事務局 市史の成果をテーマに特別展やコーナーの展示を開催していない。ただ博物館史料の寄贈品展のなかで市史コーナーを設けて行ったことはある。

委員 「私の町の歴史展」のようなものをシリーズ化して新たに分かったことを大規模でなくてもよいので情報発信になるような展示を行っていければ良いのではないか。小学校で昔の暮らしを習うが、その学習にもつながる。

事務局 ビジュアルに絞るなど、何かしらありそうなので今後検討していく。史料を貸し出して活用などもできていると思う。

## 議題（２）今後の事業計画等について

---

◆今後の事業計画等について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委員 中長期事業計画はどのようになっているか。天井が低くて展示室に合わないなどの問題がある。また、先進的な企画展をするのだからそれを取り込めるような常設展のスペースがあってもよいのでは。20年変えないよりは5年に1度のスパンで変えられるほうが時勢に合っているのではないだろうか。クラウドファンディングで天体望遠鏡に限らず常設展のリニューアルや改修を進めて頂くとありがたい。

事務局 常設展は十年來の課題。館の建築強度や設備など大規模で改修が必要な状況になっている。それは市の建物のあちこちで起きている。公共施設は1か所でマネジメントをしていく計画で博物館もその順番の列に並んでいる状況。計画に従っていく。クラウドファンディングに限らず、金額や目的に合わせていろいろな手法を市で検討しているところである。こちら

でもいろいろな方法を考えていきたい。

委員 人気があった企画展を、グレードを上げて常設化する、そのスペースを作っておくとよいのでは。企画展が立派でとても良いものなのにそれが生かされず常設展がみずぼらしいというギャップは残念だ。

事務局 佐倉の歴史民俗博物館の展示コーナーは次の企画があると前のものを撤去し入れ替えるという運営をしているのか。

委員 特別展示室、企画展示室が1つずつと、その中間がある。高頻度で入れ替えている。平塚市博物館の場合、7人で行うのは大変なので、5年に1回変わっている（数年に1回行くと変わっている）ような展示を設けるとよいのではと思う。

委員 特別展ではクラウドファンディングで得られた成果の紹介を片隅に入れるのはどうだろう。

事務局 特別展をきっかけに新規の望遠鏡を導入し、その返礼の1つとして展示室の一角に寄付をして下さった方々の名前を入れることを考えている。他には火星の最接近に先立ってファーストライトに招待する。その時の写真も出すつもりでいる。寄付して下さる方々の「教育に役立ててほしい」という気持ちを、こんどは我々がサービスする形で広く提供することが一番大切で、これが出来て初めて我々が厚意の仲立ちをする使命を果たせる。相応しい方法をその都度選んでいく。

委員 チラシを見ると、「寄付した人の名前を載せる」とあることから、「名前を載せてほしくない」と考えている人が寄付を思いとどまってしまうのでは。その人達に対する配慮も必要だと思う。

委員 前回と同様に今回でも大人数の来館が予想されるが、今回は時間制限、駐車場の有料化、この時間帯で大人数をさばけるのか。トラブルが発生した時どう対応するか。これを考慮すると事前申込制にして当日余裕があれば受け付ける、などを考えないといけないのでは。

事務局 順路等は現在見直し中である。駐車場の門限は窓口と協議していく。駐車場は民間業者が運営しているので博物館では独自に時間を決められない。前は宵の時間に見られるような大接近を過ぎた時期に行った。今回は大接近にぶつけた。「参加しやすさ」を優先していきたいので「自由参加」ということにしていく。

### 議題（3）その他

---

#### ◆議題以外の話題等

委員 学生を対象にした地学オリンピックがあり、平塚市の天体観察会の会員が全国優勝をした。

名誉な内容の宣伝を博物館として教材に使えると子供に夢を与え、良い効果になるのでは。

事務局 職員や会員のそういった成果は少なくない。職員の成果はいろいろな形で紹介し、会員の場合も本人の了承を得て行っている。ただ宣伝は大人の都合であるため、紹介された本人のためになるかどうかは慎重な判断が必要になる。未成年の場合、その影響を本人が想像できるかどうかは、ある程度周りが判断しないとイケない。

◆次回の日程を10月25日（木）に調整し閉会した。

以 上

# 配 布 資 料

## 平成30年度 第1回平塚市博物館協議会 次第

平成30年5月24日(木)午前10時  
平塚市博物館特別研究室

### 1 開会

- (1) 委嘱状交付
- (2) 会長、副会長の選任

### 2 議事

- (1) 報告事項等について
  - ・春期特別展「四之宮前鳥神社 その神輿と地域の信仰」について
  - ・「こどもフェスタ2018」について
  - ・「市史13上の刊行」について
- (2) 今後の事業計画等について
- (3) その他
  - ・ 事務連絡等

### 3 閉会

以上



## 平塚市博物館 平成 29 年度春期特別展

## 「四之宮前鳥神社 その神輿と地域の信仰 - 」 開催報告

- 1 会 期 : 平成 30 年 3 月 17 日 (土) ~ 5 月 6 日 (日)
- 2 時 間 : 午前 9 時 ~ 午後 5 時
- 3 会 場 : 平塚市博物館特別展示室
- 4 主 催 : 平塚市博物館・前鳥神社
- 5 主 旨 : 平塚市四之宮に鎮座する前鳥神社は、平安時代の延喜式神名帳に登載された古社で、平成 30 年に御鎮座 1650 年祭が執行される。これを契機に、神社が所蔵する神輿・棟札・古文書などの文化財、ならびに四之宮の地域が保管する信仰関係資料を展示する特別展を前鳥神社と共催し、神社の歴史や氏子との深い結びつきなどを紹介する。とくに文久元 (1861) 年に大山の堂宮大工・手中明王太郎が製作した大神輿は、相模の名神輿との評価が高く、手中家に残された堂宮大工資料とあわせて展示する。

## 6 展示構成と展示資料

## 展示構成

四之宮の歴史と暮らし 前鳥神社の歴史 前鳥神社の神輿と堂宮大工・明王太郎  
前鳥神社の祭と芸能 地域の信仰 \* ビデオコーナー

## 主な展示資料

文久元年建造の大神輿 (4 月 14 日まで展示) 明治 22 年建造の八坂神社神輿 (4 月 17 日から展示) 国府祭関係文書、明治 14 年前鳥神社境内図、文久元年御神輿仕様帳・棟札、手中家所蔵堂宮大工文書・道具、棟札類、古写真、前鳥囃子関係資料、前鳥座関係資料、稲荷講掛軸など。

## 7 特別展関連行事

- (1) 前鳥神社見学会 講師：鈴木建人氏 (前鳥神社権禰宜)  
4 月 8 日 (日) 13 時 ~ 14 時 30 分 場所：前鳥神社境内 参加自由 参加者 60 名
- (2) 相模人形芝居前鳥座公演「鎌倉三代記」 出演：前鳥座  
4 月 22 日 (日) 11 時 ~ 11 時 30 分 会場：博物館講堂 参加自由 参加者 41 名
- (3) 前鳥囃子と里神楽公演 出演：前鳥神社囃子太鼓保存会  
4 月 22 日 (日) 1 回目 13 時 ~ 13 時 40 分 15 時 ~ 15 時 40 分  
会場：文化公園ステージ 参加自由 参加者 130 名
- (4) 対談「神輿を語る ~ 前鳥神社神輿の構造と意匠 ~」  
講師：手中 正 氏 (手中家当主)・鈴木建人氏 (前鳥神社権禰宜)  
4 月 28 日 (土) 13 時 30 分 ~ 15 時 会場：博物館講堂 参加自由 参加者 64 名
- (5) 展示解説 参加自由  
3 月 17 日 (土) 10 時 ~ 10 時 50 分 講師：鈴木建人氏 (前鳥神社権禰宜) 参加者 63 名  
3 月 31 日 (土) 13 時 ~ 13 時 50 分 講師：当館学芸員 参加者 33 名  
4 月 14 日 (土) 13 時 ~ 13 時 50 分 講師：当館学芸員 参加者 25 名

## 8 印刷物

- ・展示解説図録 A4 判 96 頁 1500 部
- ・ポスター B2 判 150 部 B3 判 250 部
- ・リーフレット A4 判 4500 部

## 9 展示期間中入館者数（平成 30 年 3 月 17 日～5 月 6 日）

	大人	子ども	合計	日数	子どもの割合	一日平均	図録売上数
3 月	1866	480	2346	13	20.5%	180	143
4 月	2904	579	3483	26	16.6%	134	141
5 月	1932	1570	3502	6	44.8%	584	35
合計	6702	2629	9331	45	28 %	207	319
(参考)							
28 年度春期特別展「女の子と男の子のお雛さま」	11606	4011	15617	62	25.7%	252	166
27 年度春期特別展「ひらつかの家康伝説」	9056	2860	11916	45	24.0%	265	488
26 年度春期特別展「天変地異」	8746	3207	11953	54	26.8%	221	237

## 10 アンケート結果

- ・有効回答数 46 枚
- ・回答者の住所 平塚市内 30、市外神奈川県内 8、県外関東地方 3
- ・回答者性別 男 22、女 19
- ・回答者年齢

小学生	中学生	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代～
3 名	1 名	1 名	5 名	3 名	5 名	11 名	10 名	2 名

- ・情報の入手先

広報 ひらつか	博物館ホームページ	あなたと 博物館	新聞等	ポスター	口コミ	その他
16 名	4 名	3 名	2 名	10 名	6 名	10 名

- ・評価

おもしろさ	とてもおもしろい	ややおもしろい	ふつう	ややつまらない	つまらない
	23 名	11 名	4 名		1 名
難しさ	とてもよくわかる	まあわかる	ふつう	ややむずかしい	とてもむずかしい
	10 名	16 名	6 名	7 名	
総合評価	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	25 名	11 名	3 名	1 名	

- ・感想、ご意見

- ・四之宮に住んでいても知らない事が多く、この展示を見て知った。神社の歴史や北向観音の存在等。大変勉強になりました。(60 代 女性)
- ・映像が何分間なのか表記してほしい。ふりがながもう少しあっても。身近な事柄もあり興味深かった。子供がだるまとおみこしを喜んでいました。
- ・文字や文も難しく、意味が分からないところがありました。5 才児に伝えるにも私の知識等では難しかったです。幼稚園や神社で、またこのように神社やお神輿について教えて欲しいと思いました。神社にある 1 つ 1 つの意味について知りたい。「なぜ」と思うことは「なぜ」のままなので。(30 代 女性)

- ・前鳥神社は知っていましたが、これだけの歴史があるとは思いませんでした。ありがとうございました。是非行ってみたいと思います。(60代 女性)
- ・前鳥神社が好きできました。地元の特集はおもしろいと思いました。これに続けて六社神社の特集もおもしろいのは？(20代 女性)
- ・漢字の上にふりがなを入れた方がいいと思う(小学生 男子)
- ・説明文内の漢字が難しくて意味が分からない箇所もあった。お神輿は、工芸品としてもすばらしく、ずっと見入った。(40代 男性)
- ・ボランティアさん、地域の方、偶然、前鳥神社の神主さんにもお会いして、いろいろお話を聞くことができました。ありがとうございました。是非、平塚八幡宮についての展示もやって欲しいです。(50代 女性)
- ・地域の風習、習慣も、信仰に基づいたものも多いと分った。人のつながりや、信頼関係を築くことも担っていた神社の役割は重要だと感じた。資料の多くを収集する労力も大きかったのではと推察する。他地域を取り上げられることを期待する。(60代女性)
- ・やはりキャプションの文字が小さい&台が低いのが惜しいです。特に奥の壁面にはられたものは、視力0.5の私には読めませんでした。残念。ふりがなが欲しいものがありました。「てんのつな」は途中でわかりましたが、「神代家」はかみしろなのかかみよなのかじんだいなのか、わかりかねました。地元の人なら、よめるのかな？せっかくこういう専門的な解説もあるのだから、ふりがなはあると良かったです。あと、映像コーナーは面白くてしばらく見入ってしまいました。ただトータルの時間の表示がなくて、ちょっと不親切かなと思いました。美術館系のDVD上映では(〇分)という表示がされてますよ～(50代 女性)
- ・来てみて、良かったです。説明してくれる人もいて、大変助かりました。息子もみこしに入ってきて、そういう縁で来てみました。これからも、平塚の中のいろんなものを知らせて下さい。そして見せて下さい。(60代 女性)
- ・写真で国府祭の紹介、行事について 当日の進行などに番号とかついていると関連がわかりやすい。
- ・高梨氏撮影のビデオがとても良かった。分かりやすい内容、見ごたえのあるカット割り、ナレーション 貴重な映像が見られて良かったです!!
- ・神輿をこんなに身近に見ることはありませんでした。その造りの芸術性の高さに驚きました。(60代 女性)
- ・氏子制度など、周辺の住民と神社のつながりがよくわかった。(40代 女性)
- ・神社がどんどん姿を変えている現在、とても貴重な展示だと思います。地味ですがこういう企画をどんどんやって欲しい。(60代 男性)
- ・古い書物や現物の展示すべてすばらしい。後せいに残したいものばかり。(70代 男性)
- ・漢字の読み方が子供に難しかったです。色んなことがわかりました。(40代 女性)
- ・圧巻の民俗資料でした。無料で見るのが勿体ないレベルです。目玉の御神輿は作り込みが非常に、いや異常に細かくてほれほれするほど。5/6に来てしまったことが今さらながら悔やまれません。昨日か.....。(30代 男性)

## 博物館こどもフェスタ 2018 結果報告

開催日：平成 30 年 5 月 6 日（日）

天候に恵まれ、1 日を通して計画したイベントを予定通り実施できた。今年度は「サメの歯化石のレプリカを作ろう」や「郷土かるた大会」を新規イベントとして実施し、大いに盛り上がった。アンケート結果からは、総じて楽しんでもらったことがうかがえる。

### 参加者数

イベント名	開催時間	料金	会場	参加者 (小人)	参加者 (大人)	協力者	総計
古代生活体験「火起こし」	14:00～16:00	無料	屋外展示場 講堂	105	150	8	263
むかしの子ども遊び	10:00～12:00	無料	屋外展示場 民家	90	70	13	173
おはやしたいこ体験	11:00～12:00	無料	中庭	31	6	2	39
郷土かるた大会	13:00～15:00	無料	民家	29	0	13	42
サメの歯化石の レプリカを作ろう	10:00～11:00 11:00～12:00	無料	科学教室	23	40	9	72
小さいけど偉大な ブチ化石実物図鑑づくり	13:30～14:30 14:30～15:30 15:30～16:00	100 円	科学教室	45	42	12	99
プラネタリウム こどもフェスタ スペシャル	10:00～10:30 11:00～11:30 13:00～13:30 14:00～14:30 15:00～15:30 16:00～16:30	無料	プラネタリウム	160	163	6	329
太陽黒点を見よう 水ロケットを打ち上げよう	10:00～12:00	無料	屋上	268	228	8	504
博物館ぶたいうら たんけんツアー	11:00～11:30 14:00～14:30 16:00～16:30	無料	館内	65	23	0	88
クイズに挑戦	10:00～15:30	無料	館内	142	0	15	157
合計				958	722	86	1766
(昨年度合計)				(950)	(614)	(83)	1647

## 博物館こどもフェスタ 2018 アンケート

## 学年・男女別回答数

学年・年齢		男	女	計
3才			1	
4才		1		1
5才		1	2	3
小学校	1年	1	1	2
	2年	3	2	5
	3年	1	2	3
	4年	2	4	6
	5年	1	1	2
	6年		1	1
中学校	1年		1	1
	2年			
	3年			
不明(または上記以外)		1		1
合計		11	15	26

## 参加者居住地

平塚市内 18 名 平塚市外 8 名

## 「博物館こどもフェスタ」への過去参加経験

ある 9 名 ない 17 名

## イベントの感想

イベント	感想				
	おもしろ かった	すこし おもしろ かった	ふつう	すこし つまらな かった	つまらな かった
古代生活体験「火起こし」	11	2			
むかし子ども遊び	8	1			
おはやしたいこ体験	2	1			
郷土かるた大会	3	1			
サメの歯化石のレプリカを作ろう	7	2			
小さいけど偉大なプチ化石実物図鑑づくり	6	1			
プラネタリウムこどもフェスタスペシャル	11	5			
太陽黒点を見よう	4	1	1		
水ロケットを打ち上げよう	9	1			
博物館ぶたいうらたんけんツアー	4	1	1		
クイズに挑戦	12	1		1	

## 博物館こどもフェスタ 2018 アンケート自由記述

学年	性別	自由意見
3 歳	女	午後もやっているかと思っていたものが、午前中で終わってしまっていたので、もう少し長めにやっていたらいろいろ参加できたかも。
5 歳	男	11 時前に着いたので見たいイベント start が重なっているので残念。1 時のプラネタリウムを楽しみにしている
小 1	女	おはやしたいこ体験がとっても楽しかったです。次回もありましたらまた参加したいです。
小 2	女	親子共々、一日中楽しめるイベントばかりで、GWの思い出ができました
小 2	男	去年は火山の作り方、今年はレプリカ化石図鑑づくりがたのしかったです。来年も楽しみにしています。(説明してくださる方がイキイキとしているので聞いている大人もとても楽しかったです)
小 3	女	サメの歯化石のレプリカを作ろうをやりたいかった
小 3	女	クイズにちょうせん、サメの歯化石のレプリカを作ろう、小さいけどい大なプチ化石じつ物図かんづくりがとくにおもしろかった。
小 4	女	おはやしたいこたいけんなどの時間が 1 時間だけしかないのがざんねんです。来年もやってください。
小 4	男	ひのし、せんたくいた、かまどごはん、なわつくりをまたやって下さい。とてもたのしかったので
小 4	女	イベント数が少なくなって残念に思います。駐車場代が 1 時間無料の通常通りなのは不便。子どものイベントなだけに 1 時間で済むはずもないのでイベントの時くらいは考えて欲しいです。
小 4	女	いろいろなたいけんがあつたのしかった
小 5	女	来てよかったです。
小 5	男	2 こしかやらなかったけど、すっごくたのしかった。
中 1	女	火起こしが一番楽しかった。
61 歳	男	無料でなかなかよかった

## 『平塚市史 13 上』別編寺社(1)の刊行について

『平塚市史 13 上』別編寺社(1)が刊行となったことを次のとおり報告します。

### 記

#### 1. 概要

平塚市制 50 周年記念事業として昭和 57 年より刊行開始  
今回、14 冊目の配本として、『平塚市史 13 上』別編寺社(1)を刊行

#### 2. 体裁

A 5 判  
1,005 ページ

#### 3. 部数

1200 部

#### 4. 納品

平成 30 年 5 月 17 日(木) (平成 30 年度繰越明許予算)

#### 5. 販売

平成 30 年 5 月 29 日(火)より一般向け販売(価格 4,500 円)  
平塚市博物館受付窓口と市史編さん担当窓口で販売(広報ひらつか、HP 等で PR)  
市内の図書館、公民館で閲覧可。

他に郵送販売を実施

郵送希望は、住所・氏名・電話番号・市史名を記入し、書籍代金と送料(560 円)を添えて現金書留で、平塚市博物館市史編さん担当へ

#### 6. その他

本巻は平塚市内のうち、平塚・大野・豊田・神田・城島・岡崎・金田に所在する寺社の由緒と地域に関わる歴史について編集したものです。

付録として「平塚市内寺社分布図」が付きます。

身近な寺社に関する知識の源として、あるいは寺社と地域社会の関係性を考察する基礎資料として、歴史の学習や研究にご活用ください。

---

 平塚市博物館 平成 30 年度 夏期行事予定
 

---



---

 夏期特別展
 

---

- 会 期 平成 30 年 7 月 14 日（土）～ 9 月 9 日（日）
- 主 旨 2018 年 7 月、15 年ぶりに火星が地球に大接近をする。大接近時には夜空に不気味なほど赤く明るく輝く火星は古来、人々の関心を引き、様々な伝承を生むとともに、天文学的な観測も行われてきた。離心率の大きい火星の詳細な位置観測からはケプラーの法則が求められ、表面の詳しい観察からは運河の存在、ひいては知的生命の存在が示唆され、一躍、“火星”ブームを作り出した。その後、現代まで続く火星探査も火星に生命が存在するか否かが最大のテーマとなっている。
- 火星を知ることは、ひいては私たちが暮らす地球を知ることにつながる。近くて遠く、まだまだ謎に包まれている惑星、火星の素顔や探査の現状を来館者に知ってもらうとともに、大接近の好機に火星を観察し、自分たちが暮らす太陽系、そして惑星地球を知るきっかけとしてもらいたい。

## 展示概要

序章：あれから 15 年

2003 年から現在までの火星探査の成果（画像）を紹介

第一章：火星を知る

## 1. 火星という星

火星の姿・風景や物理量などのデータ、明らかになっている地質や気象の特徴について紹介

## 2. 火星と地球

火星の性質を地球のそれと比較して紹介

## 3. 惑星・火星

太陽系の中で火星がどのような位置づけなのかを解説

第二章：火星を調べる

## 1. 地上観測

主に肉眼、望遠鏡での火星観測の方法と成果を解説（ハッブル宇宙望遠鏡による観測もここに含む）

## 2. 隕石

火星から飛来した隕石の特徴とそこから明らかにされる火星の特徴

## 3. 探査機

探査機による火星探査の主に技術的な側面を解説



### 第三章 火星を見る

#### 1. 近づく火星

火星が 2 年 2 ヶ月ごとに接近（15 年ごとに大接近）する理由を解説

#### 2. 肉眼で見る

火星の肉眼での楽しみ方を紹介

#### 3. 動きを測る

火星の動きの測り方と位置を測ることの重要性、そこから導き出された法則を解説

#### 4. 望遠鏡で見る

望遠鏡での火星の見え方と最新の火星像を紹介

### 第四章：火星最前線

#### 1. 火星と生命

火星における生命探査をいくつかのキーワードを軸に紹介

#### 2. 火星と水

火星における水の存在の証拠を紹介

#### 3. 火星の進化

火星史を紹介しつつ過去の火星がどのような環境でどのようにして現在の環境になったのかを解説

#### 4. 衛星の起源

近年、新たな説が登場した火星の衛星の起源と、その解明に挑む日本の火星探査ミッションを紹介

### 第五章 火星と人類

#### 1. 火星に魅せられた人々

火星の魅力に取りつかれた人々や 2003 年以前の火星探査機を紹介

#### 2. 歴史上の火星

歴史に登場した火星にまつわる事象を紹介

#### 3. サイエンス・フィクション

SF を中心に火星を扱った小説・映画・アニメ等を紹介、現代の火星旅行計画についても解説

## 企画展

## 寄贈品コーナー「平塚空襲展」

内 容 写真や焼夷弾などの資料から平塚空襲の実態を紹介します。

会 期 7月14日(土)～8月19日(日)

## 寄贈品コーナー「平塚の遺跡 - 近年の発掘調査成果 - 」

内 容 平塚市内の最新の発掘調査成果を紹介します。社会教育課文化財保護担当が実施する「平塚市遺跡調査研究発表会」との連携企画。

会 期 8月23日(木)～9月5日(水)

## 情報コーナー 3館コラボレーション企画展「”赤”の科学」

内 容 博物館・美術館・中央図書館 3館コラボレーション事業の一環として、“赤”をテーマに赤い天体や物理現象、赤い気象現象、赤い鉱物、赤い生物などを展示します。

会 期 7月21日(土)～9月9日(日)

## プラネタリウム

## プラネタリウム一般向け番組「火星人っているの？」

内 容 火星に生命はいるのでしょうか？火星に生命を探す人類の挑戦を、女の子と火星人(?)の対話を通してお子さんにもわかりやすく解説します。

投影日 7月21日(土)～8月26日(日)までの水・木・土・日曜日

時 間 午前11時(8月の第2・第4土曜日を除く)、午後2時

## 特別投影「館長の星空解説(夏)『きょうは七夕!』」

内 容 おりひめ、ひこぼしは、どこにいるの？七夕はどんな神様？  
七夕の星空にちなんだお話満載でお送りします

投影日 7月7日(土)

時 間 午後3時30分～午後4時30分

## 特別投影「星空散歩」

内 容 星空をたっぷりご覧いただく投影です。今回は夏の代表的な星座であるさそり座や七夕の星々をご紹介します。夏休みに見られる天文現象(ペルセウス座流星群など)も解説します。

投影日 7月8日(日)

時 間 午後3時30分～

## 申込制の行事

## 自然観察入門講座「貝化石を調べよう」

内 容	地層や貝化石を調べ、大地の生い立ちを学びます。
日 時	8 月 1 日（水） 午前 9 時～午後 3 時（雨天中止）
場 所	野外（大磯町）
対 象	小学 4 年生以上

## 体験学習「縄文人になろう」

内 容	マイギリによる火起こしや弓矢など、古代人の技術を体験します。
日 時	7 月 28 日（土）午前 10 時から午後 4 時
対 象	小・中学生

## 体験学習「川原の石ころ図鑑をつくろう」

内 容	川原の石を拾って、実物を使った石の図鑑を作ります
日 時	8 月 9 日（木）・10 日（金） 午前 9 時から午後 2 時（両日参加が必要） 8 月 23 日（水）・24 日（木） 午前 9 時から午後 4 時（両日参加が必要）
場 所	神川橋河川敷・博物館講堂

## みんなで調べよう！ ～セミのぬけがら調べ～

内 容	セミのぬけがらを記録して、平塚市内に生息するセミの種類と分布を調べます。平塚市博物館と平岡幼稚園の協働事業です。
調査期間	7 月 21 日（土）～ 8 月 22 日（水）
講習会	7 月 21 日（日） 午後 2 時～午後 4 時（博物館講堂）
合同調査	8 月 1 日（日） 午前 9 時 30 分～午後 1 時（野外）
まとめ	8 月 22 日（水） 午後 2 時～午後 4 時（博物館講堂）
対 象	一般（小学生以下は保護者同伴）

## みんなで調べよう！ ～ひらつか星空調査隊～

内 容	街明かりで星が見えにくくなってしまいう“光害”。博物館では、平塚市内のどこでどのくらい星が見えるのか、5 年前から市民の皆さんと一緒に調べています。 平塚といえば七夕、七夕といえば天の川...でも、街明かりがあると天の川はほとんど見えなくなってしまいます。昨年度に引き続き、8 月 10 日（金）には環境政策課によるライトダウンも予定されていますので、その前後でどのくらい夜空が暗くなったかの調査も行います。平塚で天の川が見られる日を目指して...ともに活動しませんか？
-----	--

調査期間	夏期 2018 年 8 月 1 日(水)～8 月 14 日(火)
	冬期 2019 年 1 月 25 日(金)～2 月 8 日(金)
講習会	7/26(木)、7/29(日)、8/1(水) 各午後 3 時 30 分～4 時 30 分
対 象	一般(小学生以下は保護者同伴)

## 自由参加の行事

---

### 体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」

---

内 容 偏光板という不思議な板を使って万華鏡を作ります。

日 時 7 月 27 日(金) 午前 10 時～午前 10 時 45 分、 午前 11 時～午前 11 時 45 分

### 「赤」の科学」展関連行事「分光器を作ろう」

---

内 容 光を色に分けて人工的に虹を作ることができる道具を工作し、いろいろな光を観察します。

日 時 8 月 2 日(木) 13 時～13 時 50 分

(時間内であればいつでも参加できます。工作時間は 10～15 分です。)

### 星を見る会

---

日 時 7 月 31 日(火) 午後 8 時～午後 9 時 45 分

「大接近当日！火星を見よう」前半は木星や土星を、公判ではこの日、地球にもっとも近づく火星を望遠鏡で観察します。

8 月 3 日(金) 午後 8 時～午後 9 時 45 分

見頃を迎えている 3 惑星、火星・木星・土星を望遠鏡で観察します。

### イブニング・ミュージアム・ウィーク

---

内 容 開館時間を午後 7 時まで延長します。延長時間帯には夏期特別展に合わせて「赤」をテーマに毎日イベントを開催します。

期 間 8 月 7 日(火)～8 月 12 日(日)

イベント	8 月 7 日(火)	赤い石の伝承	地質
	8 月 8 日(水)	宇宙は赤かった？ - 赤い光で満ちる宇宙 -	天文
	8 月 9 日(木)	ギジカラーで写そう - 赤外線撮影入門 -	天文
	8 月 10 日(金)	相模国の赤烏 - 古代の瑞祥 -	考古
	8 月 11 日(土)	村絵図の中の赤い線	歴史
	8 月 12 日(日)	赤色の呪力	民俗